



有松まちづくりの会役員会 (3月25日)

平成31年4月1日
有松まちづくりの会

○ 有松まちづくりの会総会について(総務部報告)

開催日時:5月16日(木) 13:30~ 絞会館

記念講演:「頼山陽について」 講師:山根兼昭氏(頼山陽ネットワーク会員)

開催案内:4月中旬 世話人により配付 同時配付:会費納入のお願い、会報「有松」

○ 晩秋の有松を楽しむ会 開催日決まる(同実行委員会担当からの報告)

晩秋の有松を楽しむ会実行委員会は、今年の開催日を11月第2土・日(9日・10日)に決定しました。

なお、来年の開催日も11月第2土・日に開催する予定です。

○ 会報「有松」、「有松かわら版」全巻ホームページに掲載予定(広報部報告)

会報「有松」・「有松かわら版」は、既に最近号が掲載されていますが、1号から全号をを掲載します。

掲載の主旨は、有松の歴史やまちづくり活動の経緯が活字として残されており、有松を知りたい多くの人に資料提供することです。時期は夏頃を予定しています。

〈参考〉1号発行時期

会報「有松」:昭和58(1983)年3月 「有松かわら版」:平成22(2010)年8月

○ 小路名称看板 増設される(広報部報告)

西町の河竹小路、川村小路入口に小路名称看板が設置されました。

これで有松東海道から入る主要9小路の内、7小路に設置されました。残る2小路にはまだ名称が付与されていません。名称付与が今後の課題です。

桶狭間古戦場観光案内所オープン

桶狭間古戦場保存会が「有松・桶狭間観光案内処」閉鎖後、桶狭間地区内の設置を検討してきた「桶狭間古戦場観光案内所」が、この度オープンしました。場所は大池の西にあり、観光案内・土産物の販売のほか甲冑試着体験もできます。甲冑を着て古戦場公園を散策し、記念写真を撮ることもできます。

案内所は、休日なしの午前10時から午後4時までオープンしています。なお、案内所の開所式は4月中旬の予定です。



桶狭間古戦場観光案内所

第4回ありまつ福よせ雛さんぽ道

○ 春のありまつさんぽ道(3月1日～24日)

福よせ雛も地元の方々や多くのファンに支えられて有松の春の催しとしてすっかり定着した感があります。毎年工夫を凝らしたイベントも行われ、有松観光案内所で福よせ雛を実際に制作したり、有松イオンに設置された福よせ神社のピンクのハート形絵馬へ願いごとを書き込んだり、子どもさんを始め多くの方が笑顔で参加型の福よせ雛イベントを楽しんでいる様子が見られました。

参加型といえば、今年は桜花学園や名古屋短期大学の学生さんが雛人形の制作だけでなく、その人形に添える川柳も考えて下さいました。東海道を飾る人形に川柳が添えられていることに気づきましたか。福よせ雛の準備は大変です。元々室内で飾るものを屋外に置くのですから。雨に濡れて顔の塗料が取れてしまった雛には、お団子を近づけて隠します。なかなかお行儀よく台の上に座ってくれない雛は言うことを聞かない子どものようです。

来年はより参加機会を増やして実施したいと思います。もっと人手が欲しいです。実行委員大募集してますよ。

○ 有松絞りを身にまとうお雛様

中部人形節句品工業組合さんによる「有松絞りの雛人形展」がありました。これは、同組合の青年部の企画で、絞り衣装の内裏様が絞会館、有松観光案内所など5か所に飾られました。

ぼんぼりにも絞りが使用されるなどオリジナルティーあふれる雛人形に、お客さまからは「うっとりするほど素敵」「自分用に欲しいわ」などの声が聞かれました。

○ 福よせ雛祭りライブ(3月3日)

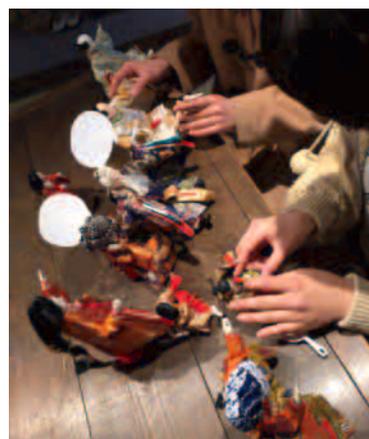
松柏苑で箏の演奏会が行われました。二胡との共演が中止となり残念でしたが、海外公演の豊富な杉浦充氏の演奏は、小雨に煙る有松の町並みに大変よく似合っていました。

演奏の合間には箏の解説をしていただき、鑑賞初心者にとっては理解を深める機会ともなりました。

○ 福よせ春の町家ライブ(3月24日)

ひさだ家で津軽三味線ユニットの演奏会がありました。20代の若者三人組。素晴らしい庭園を背に息の合った力強い音色を奏でてくださいました。津軽三味線を中心にキーボードとカフオーンという箱形の打楽器との共演、特にカフオーンが印象的でした。

ライブは、歴史ある町屋、茶室と庭、有松のおもてなしの空間で演奏され、深みが増すように感じられました。



福よせ雛制作体験



川柳付き雛



有松観光案内所にて



有松天満社 春季大祭 (3月17日)

あいにくの雨模様でしたが、多くの方が参拝に訪れていました。参道入口には屋台10店程が出店。輪投げや食べ物のお店が並んでいました。虹橋でフランクフルトを頬張る子どもも見られました。珍重坂の50段程の階段を登ると上の広場に出ます。そこでは福年会の皆さんにより、餅つきが行われていました。全部で5臼。つき終わるたびに餅が振る舞われていて、お参りの方々がにこやかに頬張っていました。

雨模様のため、1時間遅れの12時から天満社奉納包丁式が始まりました。食材に手を触れず、包丁と箸で切り分け並べる儀式です。儀式は日本料理のやまとの店主により執り行われました。

更に、階段を30段程登ると拝殿に着きます。拝殿に昇殿しお祓いを受ける方、拝殿前で手を合わせる方、様々です。お子さまも多く、なで牛の頭を撫でている姿を多く目にしました。



下の広場



上の広場



餅つき大会



包丁式



拝殿前



なで牛(臥牛)

スライドによる町並み案内と紙芝居(3月17日)

スライドによる町並み案内と紙芝居(3月17日)

有松天満社 春季大祭に合わせて、有松あないびとの会によって行われました。会場は、名古屋市指定有形文化財の「岡家」です。その日はいつになく寒く、開始前には小雨の降るといふ悪条件でスタートしました。ところが、いざ始めてみると大勢のお客さまで入場制限をするほどの盛況でした。

演目は、紙芝居二題「庄九郎と仲間たち」「悲劇の皇子ヤマトタケル」と「有松町並み案内」。いずれもスライドでの発表です。このような形での発表は初めてのようで、CCネットの取材も入っていました。3歳ほどの女の子ヘインタビューがありました。記者「今日はどうでしたか？」 女の子「たのしかった」 記者「どういうところが」 女の子「絵がきれいでたのしかった」

このやり取りを間近に見聞きし、3歳の子をしてそう言わせたスライドによる今回のパフォーマンスは大成功でした。



上映中の様子

福よせ雛さんぽ道散策会 (3月10日、緑区ルネッサンスフォーラム)

雨天のため参加者が少なめで、少人数でのご案内ができたため、わいわい楽しくおしゃべりをしながら見学することができました。ご案内は説明をするだけでなく、いろいろ考えてもらえるよう心掛けました。例えば、「絞り商の屋敷の多くは前面に庇がありますがどうして?」「街道の南側に立地している絞り商が多いのはなぜ?」「浮世絵には店先の連子格子が見られませんがどうしてでしょう?」など考えながら見学する楽しさを感じ取っていただけたらうれしいです。



西町にて

旅まつり名古屋2019 (3月16日、久屋大通り公園、有松あないびとの会)

当日の天気予報は、午後雨・嵐になる恐れありなどといわれ心配しておりましたが、有松が当番の午後には強い日差しとなり、すごい人出でした。チラシ配りやご案内をする中、名古屋戦国武将隊が現れ、積極的に有松の宣伝をして下さいました。そこへはち丸君も合流したため、蜂の巣をつついたような賑やかさで、30分程で武将隊が引き上げると、持参したパンフレットはほとんどなくなっていました。

これまでに有松に行ったことがあると言われた方が少なく、これからもいっそう有松の宣伝に務めていきたいと思いました。



有松ブース前にて

有松グルメ発売される

NPO法人コンソーシアム有松の発案で、有松の飲食店が有松絞りとコラボしたメニューを開発し、3月1日提供を開始しました。各店が知恵を絞った魅力的なグルメ揃いです。福よせ雛を見に訪れたお客様にも好評でした。

チラシ「有松ぐるめぐり」を同封しましたので、試食に各店をお廻りください。

催事・行事の予定

4月07日(日)	07:00	県会・市議員選挙
4月07日(日)	09:00	有松東海道青空市 有松商工会周り 青空市運営委員会
4月15日(月)	18:00	有松町並み相談会 コミセン
4月21日(日)	13:30	城山三郎「捕虜の居た駅」学習会と跡地見学 棚橋家
4月22日(月)	18:00	有松まちづくりの会役員会 コミセン
4月27日(土)	10:00	第35代ミス絞り 発表会 絞会館
4月28日(日)	07:30	かえで道清掃 有松まちづくりの会
4月29日(月)	10:00	第31回あいち都市緑化フェア 大高緑地 愛知県

発行者:竹田嘉兵衛(有松まちづくりの会 会長)

編集者:加藤 一成(有松まちづくりの会 広報部員)

T・F 052-623-1676 090-4163-2671

E-mail katoisse@mc.ccnw.ne.jp

有松まちづくりの会は、ホームページを公開しています。

有松のまち

検索